

みんなでがんばったよ！

11/15 幼稚園おゆうぎ会



▲劇を発表したばんだ組（飯樋幼稚園）

草野幼稚園と飯樋幼稚園でそれぞれ「おゆうぎ会」が行われました。

おゆうぎ会では、衣装や飾りを身に着けた園児たちが、小さな体をいっぱい動かし、この日のために練習してきた遊戯やダンスなどを発表。会場に詰め掛けた家族から大きな拍手を受けていました。

華やかに28演目を披露

11/23

第24回芸能発表会

村文化協会（志賀清一会長）主催の「第24回飯館村芸能発表会」が村公民館で開催され、村内の各団体が唄や太鼓、踊りなどの芸能を披露しました。

発表会には、民謡や琴演奏、コーラス、舞踊、太鼓、フラダンス、カラオケなど9団体が出演、3時間以上にわたって計28演目を発表しました。

会場の観客らは演目が終わるごとに大きな拍手をおくっていました。



▲英語指導助手のマリ・ロバーツさんも見事な太鼓を披露



▲ジュニアの部で優勝した西川さん

Q「民謡同好会」について
A 杉岡茂先生（小宮）に指導を受けています。

なかでも、西川茜衣梨さん（草野小5年）は10月に相馬市で開催された相馬

Qどんな方が対象ですか
A 民謡に興味のある方ならどなたでも。会員は小学生から70歳代までおり、親子で民謡を楽しんでいる方々もいます。

Q民謡の魅力
A みなさんの前で歌うのが一番の楽しみです。ミニデイやいたてホームなどの慰問の際に皆さんに喜んでいただけるのもうれしいです。

Q「民謡同好会」について
A 杉岡茂先生（小宮）に指導を受けています。

なかでも、西川茜衣梨さん（草野小5年）は10月に相馬市で開催された相馬



▲芸能発表会で日ごろの成果を披露

までいにつないでサークルリレー

第3回 堀内流 飯館民謡同好会

民謡全国大会（ジュニアの部）で見事優勝されました。茜衣梨さんは、将来プロを目指してがんばりたいと話しています。

Q 村民へのメッセージ
A 70歳代が多い同好会ですが、民謡をやってみんなはつらつとしています。私たちと一緒に民謡を楽しみませんか。

活動日 毎月第1・3水曜日
時間 午後7時から
場所 公民館
大内 定子
☎ 42-11202



▲給食を味わうようす（飯樋小学校）



11/25 水産物学校給食推進事業

村では、県の水産物学校給食推進事業の補助を受け、県内の漁港で水揚げされた水産物を学校給食食材として提供しています。

この水産物学校給食推進事業は、県内水産物の価格が比較的高く、学校給食食材として、なかなか利用が難しいことから、食への嗜好（趣味。特に、飲食物についての好み）が定着する小中学校生を対象に、学校給食を通して、水産物の豊かさや美味しさを伝えるとともに、地域での地産地消を推進し、漁業の振興をしようとするものです。

村では今年度、相馬港で水揚げされた魚やほっき貝などを利用した給食を5回提供しました。

この日、相馬港でとれたサバが「さばのゆずみそかけ」として給食のメニューに登場。このうち飯樋小学校の1



▲この日のメニューは、麦ごはん、さばのゆずみそかけ、こんさいじる、のりあえ、牛乳



年生たちは、「皮まで全部食べているよ」「魚の給食も大好き」などと話し、おいしそうに給食を味わっていました。

給食のお魚は皮まで残さないよ！

子育て相談室 お気軽にご相談ください

規範意識4

生徒指導総合連携推進事業の「報告書」の最後に課題と提言が提示されています。引用して紹介します。

●課題

・子どもの意識より保護者の意識が低いのは（飯館村の）社会的問題である。

・中学生の規範意識に乱れが見られる。原因の一つは保護者の規範意識の低さにある。

・子どもと保護者の意識の相違が顕著な項目は「お手本」の部分である。保護者は「お手本となる行動をしている」と思っているが、子どもは必ずしもそうは思っていない。

●提言

（飯館村の）大人が社会のきまりを守っている姿を子どもに見せることが大切である。家庭では、善悪の判断ができるようにしっかりとしつける。地域ではふだんから（好ましい）コミュニケーションを図るようにする。

飯館村の子育ての合言葉は「タツプリほめて、シツカリしかる」ということです。お互い真剣に努力して、そんな気風が飯館村中にみなぎるようにしたいと思います。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野 和夫

○「教育相談」は、飯館中学校（☎42-0008）へ電話でお申込みください。